

# 西馬城地域づくり協議会だより

～ 元気 やるき みんなで育てよう 豊かな西馬城～

第 78 号 20 21 年 9 月

発行：西馬城地域づくり協議会

事務局 TEL・FAX 25-6828

25ne3i@bma.biglobe.ne.jp

## 御許山登山口を整備 有志ら 8 人が草刈り 8/4

地元有志の皆さんが登山口周辺の草刈りをしました。宇佐市観光協会からも 応援参加がありました。最近のパワースポットブームで遠方からの参拝登山者の姿がよく見られるようになった御許山、YouTube にもいろんな人の動画が挙がっています。



## 学校も除草ですっきり P T A・地域・子どもが力合わせ 8/21

新学期を前に、長雨で草が伸び放題になった小学校のグラウンドや校舎周辺、学校梅林などをみんなで草刈り・草取りをしました。早朝から 4 3 人が参加しました。地域おこし協力隊も参加しました。



この日は「親子で働く日」という意味合いもあります



学校梅林の草を刈る山口前会長、幡手元会長ら

## 令和 3 年度第 1 回役員会が開かれました 7/28

最初に青年会議所から宇佐神宮マラソン大会中止の件、小学校から運動会の実施についてのお知らせ。事務局より 4 月以降の活動の報告。御許山登山口トイレのこと、西馬城の子どもの減少と小学校の今後のこと、防犯や交通安全対策のこと等について協議しました。

※御許山登山口トイレについては、来年初頭に設置完了との報告が後日宇佐市からありました。

りゅうていげつ こやなぎ  
西馬城の名景 柳堤月(小柳の池)

池の堤に立ち月を眺める。御許山からおもむろに吹く「馬城おろし」の風が月を映す水面を揺らす。この風情ある景色はかつて西馬城(村)の10勝(名景)の一つとして数えられていました。

水面約6町歩、宇佐で7番目の大きさを誇る小柳池。平野80町歩を灌漑し米5,000俵を養うと言われていました。

元禄3~10年(1690~1697)にかけ、下矢部の里正(りせい=村の長)幡手藤左衛門の発願で、中津藩主小笠原侯のお蔵をひらいて造られたと言い、代官として中津から永尾治部左衛門が来て監督をしました。永尾氏は下矢部の岩鼻の飯館を居館として永住したと言います。数十年後の明和の頃、藤左衛門の孫(里正)が当時の藩主奥平侯に願い上下二つの池を一つにし、水路も整え今日の小柳池に仕上げたと言われています。平成10~13年(1988~2001)に大改修を行いました。

西馬城小学校では2・3年生が地域学習で小柳池のことを調べています。



御許山を背景に満々と水をたたえる小柳の池



史談会が建立した碑には小柳池の歴史が刻まれている

## 9月の行事

21日~30日は「秋の全国交通安全運動」です。

おこさず あわず 事故ゼロ

日	月	火	水	木	金	土
			紙 1 防災の日 交通安全活動	2	3	4 PTA廃品回収
5	缶 6	7	8	9	10	11
12	び・P 13	14	15	16	17	18 西馬城小運動会
19	20 敬老の日	21 交通安全活動	22	23 秋分の日	24	25
26 交通安全作業	不燃 27	28	29	30		

## 交通安全対策を申し入れ 宇佐警察署と土木事務所に 8月

宇佐警察署に対して県道658号線の速度違反取締の強化を、土木事務所に対してつばめ石付近の速度抑制の路面標示と岩鼻~牛旁のセンターラインの引き直しを地域づくり協議会から要望しました。